

「登山道を考える」シンポジウム 開催報告

平成 28 年 3 月 31 日

NPO 法人 みろく山の会 自然保護部 鈴木 茂

県民協働型登山道維持管理補修協定による大倉尾根の登山道補修を始めて 10 年が経過した機会に、登山道整備に関係する団体との意見交換を目的に「登山道を考える」シンポジウムを 10 月 10 日（土）に神奈川県立秦野戸川公園パークセンターの多目的会議室で、丹沢大山自然再生委員会との共催で 13 時から 16 時 30 分まで 29 名が参加して行われました。

開催に先立ち、丹沢大山自然再生委員会 久保副委員長及び神奈川県自然環境保全センター 山根自然保護公園部長からシンポジウム開催の挨拶がありました。



丹沢大山自然再生委員会
久保副委員長



神奈川県自然環境保全センター
山根自然保護公園部長

講演は、以下の 5 団体の方にそれぞれの取組や課題及び新しい工法など、登山道に関する興味ある情報についてそれぞれ発表がありました。

神奈川県自然環境保全センターから自然公園課小堺副技幹より「自然公園の施設設備と課題」
神奈川県自然環境保全センター 藤田パークレンジャーから「自然公園指導員補修隊の活動」
秦野ビジターセンター 柳川さんから「ビジターセンターによる登山者への普及啓発」
(株)MTS 氷雪研究所 松田社長から「土壌を痛めない登山道の設計思想と新工法」
NPO法人 みろく山の会 鈴木より「県民協働による登山道補修活動と課題」

講演後は参加者との質疑応答等を行い、意見交換などを行い終了しました。

シンポジウムを終えて

山の会団体である「NPO法人 みろく山の会」が、丹沢大山の自然再生シンポジウム「登山道を考える」を初めて行いました。参加された方々に、登山道の維持管理にいろいろな活動を行っている団体があることを知っていただけただけでも、一回目としては成果の一つだと思っています。

次回開催する際は広報も含めて改善を行い、多くの方に参加していただける自然にやさしい登山道の歩き方・自然にやさしい登山道についてのシンポジウムにしたいと考えています。

講演者の皆さま



柳川さん 鈴木 松田社長 小堺副技幹 藤田パークレンジャー